

# まなざし



No.64 (2010年度第2号)  
2010.5.26発行  
出雲工業高等学校  
人権同和教育部

野球部とは何か。

陸上部とは何か。

バレー部とは...

バスケ部とは...

.....

「野球部って野球をするための組織でしょ」という分かりきった答えはどうやら正しくないらしい。あなたならこの問いにどう答えますか？

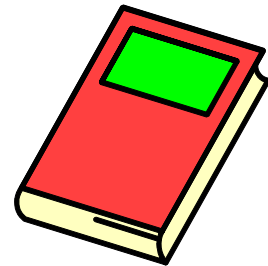
ある高校に、この問いに真っ向から立ち向かった女子マネージャーがいました。彼女は野球部のマネージャーでした。そして、マネージャーになった目的は県大会で1勝もしたことのない野球部を甲子園に連れて行くということ。

そのための第一歩が「野球部とは何か」を考えることでした。

彼女の苦勞を詳しくは述べませんが、たどり着いた結論は

「顧客に感動を与えるための組織」

彼女の言葉を借りれば、「親も、先生も、学校も、都も、高野連も、全国のファンも、そして私たち部員も、みんなそう！ みんな、野球部に感動を求めているの！」



...もうお気づきかもしれませんが、これは少し前に話題になった『もし、高校野球の女子マネージャーがドラッカーの『マネジメント』を読んだら』というずいぶん長い題の小説の中の話です。

でも、この「野球部」を他の部活動に置き換えても全く同じことが言えるのではないのでしょうか。

部活動には人を感動させる力があります。それは、作品が完成するまで何時間でも机に向かい続ける後姿だったり、素晴らしく美しく描かれたボールの軌跡だったり、勝利の瞬間にほほを伝う涙の滴だったりするのもかもしれません。しかし、すべてに共通しているのは人間を感動させるのは人間だということでしょう。

人は時に生きているというそのことだけで他の人に感動を与えることもあるのです。

どんな人の中にも誰かを感動させる力が必ずある...もちろんあなたの中にも...そしてさらに言えば、人は感動を求めて生きている。

毎日顔をあわせてよく知っていると思っている人からも、普段あまり話をしたことのない人からも、本当はもっと感動をもらえるチャンスがあるのかもしれない。

この人はこんな人なんだ、これはこういうものなんだと自分勝手に決めつけないことが、もっとたくさんの感動に出会える秘訣なのではないのでしょうか。

総体が始まります。壮行式で、各部の部長が「応援よろしくお願いします」と言っていました。応援に行ってその場で試合を見ることもきっと私たちにたくさんの感動をあたえてくれるチャンスになることでしょう。

そして、何より選手の皆さん自身が感動を得られるような試合になるように、健闘を祈っています。